



Contents

特集 さよなら、我が母校	2
まちのできごと	4
第3回 町民体育大会	6
ボランティア活動 ほか	8
年金だより ほか	9
よかとこい巡り (河上神社編)	10
錦江に生きる ほか	11
お知らせコーナー	12
戸籍の窓	13
暮らしの情報	14



元気ハツラツ！

池田中学校

さよなら、我が母校

学校経営方針

小規模校の特性を生かした学校経営に努め、学校の活性化を図る

一校一風

花と緑、気力・体力づくりの池田中

今月号より、4回に渡り中学校統合に伴い、今年度で閉校する大根占地区の四中学校を紹介しします。

第1回目は池田中学校です。

池田中学校は、昭和22年4月に大根占中学校池田分校として開設され、昭和25年5月に大根占町立池田中学校として独立しました。そして来年3月に、開設以来61年の輝かしい歴史を刻み、閉校します。

池田中学校は昭和43年の地区新人球技大会・女子バレーボール優勝を皮切りに、スポーツでは野球・バレー・卓球でいろいろな大会を制し、文化部門では南日本花壇コンクールで幾度も特選を受賞するなど、県内外でもその名を馳せています。その中でも駅伝部は、通常の部活動とは別に生徒全員参加で創部され、県内の大会を総なめにするほどの活躍で、女子は九州中学駅伝大会にも5年連続出場するなど「駅伝の池田」としてその名を県下に轟かせています。また、現在では卓球部が地区大会等を総なめにしており九州大会等にも出場しています。

その他のできごと等は下段の学校沿革（抜粋）をご覧ください。

学校沿革

(抜粋)

S 22・4・30	大根占中学校池田分校として池田小学校の教室を借用開設
S 22・5・6	大根占小学校において開校式及び入学式挙行
S 25・4・1	大根占町立池田中学校として独立
S 25・10・15	第一期新校舎工事竣工 徽章・バッチ制定
S 27・10・15	第二期新校舎工事竣工 新校舎に移転
S 35・1・30	独立10周年記念式典挙行 校歌制定
S 36・4・1	男女制服制定
S 40・2・5	完全給食実施
S 40・8・21	運動場拡張工事 (国分自衛隊第315施設団による)
S 40・10・5	運動場豪雨の被害を受ける
S 41・7・9	運動場豪雨の被害を受ける
S 43・11・20	地区新人球技大会女子バレー優勝
S 52・2・23	校旗制定入魂式
S 53・6・19	校舎改築工事着工
S 54・2・24	新校舎落成式
S 54・10・18	学校保健統計文部大臣賞受賞
S 56・11・11	県中学校駅伝大会初出場
S 57・5・1	校区運動公園中学校敷地へ移管
S 57・6・9	郡中学校陸上競技大会総合2連覇
S 58・12・26	第2回九州中学駅伝大会出場
S 58・5・8	垂水杯野球大会優勝
S 58・11・17	第22回全国学校体育教育研究大会全国表彰
S 59・2・28	郡教育振興会学校体育賞受賞
S 59・3・12	卒業記念池完成(同窓会協力)
S 59・12・8	第2グラウンド照明施設完成
S 60・6・26	南部地区総合体育大会 野球・バレーボール優勝
S 62・6・3	郡PTA表彰
S 62・8・20	屋内運動場工事開始
S 62・10・18	大隅湖一周駅伝大会男女優勝
S 63・11・10	県中学駅伝大会男女出場
H 元・8・8	テニスコート2面設置
H 2・1・14	全国都道府県対抗女子駅伝選手輩出
H 2・10・9	全国手紙作文コンクール学校賞受賞
H 2・12・26	九州中学駅伝大会女子出場
H 3・1・13	全国都道府県対抗女子駅伝選手輩出



▲都道府県対抗女子駅伝で力走する
旧姓・石塚榮里子さん(H5年卒)

H 3・3・22	肝属地区学校保健優良校表彰
H 4・10・20	肝属郡中学校駅伝大会女子5連覇
H 4・11	県中学校駅伝大会女子3連覇
H 5・3・22	バスコン室、バスコン10台設置
H 6・12・4	九州中学校駅伝大会女子5年連続出場(最高位は4位)
H 7・8・5	グラウンド全面整地作業完了
H 9・6・7	屋内運動場ピアノ購入 (ピアノ開きコンサート開催)
H 10・7・10	郵便友の会九州大会出場
H 11・7・23	県陸上大会110mH優勝(個人)
H 12・1・4	創立50周年記念式典・祝賀会
H 12・9・17	第1回池田小・中学校校区運動会開催
H 13・4・24	日本漢字能力検定協会特別賞受賞
H 14・5・22	肝属地区中体連陸上競技大会 女子共通100M第一位(個人)
H 14・10・23	地区中体連新人大会卓球個人優勝
H 15・3・4	学校北側土手補修
H 15・12・16	感謝状授与(法務省人権擁護局長・全国人権擁護委員連合会)
H 16・6・22	県中体連卓球大会団体個人出場
H 17・6・22	肝属地区中体連卓球大会団体優勝
H 17・8・11	九州中学校卓球大会出場
H 17・10・18	肝属地区中学校新人卓球大会団体優勝・個人三位まで独占
H 17・10・29	全九州卓球選手権大会県予選団体3位 一年個人優勝
H 17・12・25	全九州まつもと卓球大会個人2位
H 18・1・29	大隅地区中学新人卓球大会個人1位2位独占

池田中学校への想い



錦江町立池田中学校
校長 鶴田 数広

本校は、昭和二十二年四月、大根占中学校池田分校として開設。昭和二十五年三月に池田中学校として分離独立しました。分校時代を併せると六十一年の歴史を持つ中学校です。昭和二十二年に中学新一年生として入学した方々も、今年で七十二歳になっていらつしやるのではないでしょうか。

私が池田中学校への赴任が決まったとき、周囲から駅伝で有名な学校であるという度にも聞かれました。確かに本校には、平成三年度九州中学校女子駅伝大会五位・平成四年度同大会四位の入賞盾を始めた百何十ものトロフィーが飾られています。しかし近年は、生徒数の急減により、どちらかといえば卓球や文化面での活躍が話題になっています。

このような池田中学校も本年度で閉校です。小規模校独特の家族的な雰囲気の中学校在学地域からなくなることに寂しさを感じます。



1974年修学旅行での一枚

しかし、統合により旧大根占四中学校それぞれの歴史を引き継ぎながら、生徒たちがより多くの人の中で切磋琢磨し成長していく機会を得ることはまた、とても大切なことではないでしょうか。

子どもたちの未来をよりすばらしいものにしたと願って。

錦江町立池田中学校 3年 馬込 真子

五十八年という長い歴史を経て、伝統ある池田中学校は今年度幕を閉じます。

最初、池田中学校が閉校すると聞いたときは驚きを隠せませんでした。入学するに寂しい気持ちになりました。入学するまでは三年間という期間が長く感じていたはずなのに、今振り返ってみると、これまでの出来事が昨日あったことのように頭をよぎります。

今まで何人の先輩たちが思い出を胸に卒業していったのでしょうか。沢山の人の思いと歴史の詰まった池田中学校。いつまでもいつまでも皆さんの心に残ってくれるとよいと思います。

閉校式実行委員長 横井 正美

「山は白山、川は竜崎」自然豊かな学舎、学校教育、地域の人々に教育・地区活性化の場として長年愛され、親しまれてきた池田中学校もいよいよ平成二十年三月をもって、五十八年間のすばらしい歴史に、幕を閉じることになりました。過疎、少子、高齢化の進んでいる現在、時代の流れでやむを得ないと寂しく思います。

閉校を間近に迎え、これまで池田中学校の五十八年間の歴史を築き上げてきた数多くの先輩方、後輩の皆さんをはじめ、地域の皆様方に深く感謝申し上げます。

池田中学校は、昭和二十五年四月の開校以来数多くの卒業生を送り出し、県内外で池田魂を胸に色々な分野で活躍されており現在に至っております。これもひとえに歴代校長先生をはじめ歴代諸先生

方の心温まる三年間の教育の賜物と感謝申し上げます。

私も第十七回卒業生の一人であります。

我々の昭和三十年代後半の在校時は戦後のベビーブームの時代で全校生徒数二百二、三十名位の大所帯で一クラス約四十名位、校舎も木造長屋造りで、教室満杯で寄り添って勉強していた事を思い出します。また、運動場が無かったため、隣の小学校グラウンドでの保健体育の授業も今は懐かしい思い出です。その当時は学校給食も無く、各自弁当持参、冬場は廊下に木製の炭火温め器で弁当を温めて、食欲旺盛の年頃なので昼食をおいしく頂くことが出来ました。学校の生徒への十分な心遣い本当にありがとうございました。その後、昭和五十四年に現在の校舎が完成し、また運動場も整備され、生徒の皆さんにとってはすばらしい環境のもとで学生生活を送ることが出来、現在に至っております。

平成十二年一月四日には、池田中学校創立五十周年の記念式典を行いまして五十年の節目といたしまして校訓である「向学、克己、友愛」の記念碑も設置しております。平成二十年三月二十三日予定の閉校記念式典に向けて平成十八年度から実行委員会を設立し、記念事業部、記念誌部、記念碑部の三つの専門部会を設け学校の事務局を中心に卒業生、地域の皆さん一丸となって事業を着々と進めております。多大なるご協力ありがとうございました。

最後にこれからの時代を背負って立つ生徒諸君、来年度から四校統合して新生錦江中学校の生徒として胸を張って勉学にスポーツに励み、なお一層のご活躍を祈念申し上げます。

五十八年間ありがとう池田中学校



1964年体育部



1973年の体育祭での仮装



1965年の卒業生



現在の校舎



▶ 綺麗になった海岸で相撲大会



▶ タバコの吸殻がこんなにたくさん



▶ 何でこんなもので!?



▶ アルコールの缶にタバコの空き箱 大人の嗜好品…



クリーンな海岸に

10月23日、大根占小学校の5、6年生が「海岸クリーンアップ作戦」を実施しました。これは、海岸のゴミ拾いを行うだけでなく、鹿児島大学が研究しているゴミと海流の関係のサンプル採集も兼ねていて、児童たちは海岸で拾ったゴミを分別しながら全ての数量を数えました。

児童たちは、作業をしながら、そのゴミの量に驚いていました。それもそのはず、捨てられているゴミの中には子供たちが捨てる可能性は皆無に等しいタバコの吸殻(1,032本)などが大部分を占めていました。

ゴミは漂着したものかもしれません。しかし、明らかに錦江町の海岸に捨てられたゴミもあります。子どもたちへ美しい海を残すためにも今一度考えなければならないのではないのでしょうか。

綺麗になった海岸で相撲やビーチフラッグをしている子供たちはとても楽しそうでした。この笑顔を守るためにも綺麗な海岸を。

上部地区綱引き



恒例の上部地区十五夜祭りが10月21日(日)午後6時30分から表木グラウンドで開催されました。

この行事は、地区民総出で行う伝統行事で、今年は約100人の参加がありました。

当日は、早朝からグラウンドの清掃作業、綱練りを行い、夜は相撲大会、綱引き、演芸大会、抽選会等で大いに盛り上がりしました。

約3時間かけて練りあげた綱での綱引きは大人も子供も無我夢中で引き合い、心地よい汗をながすことができました。また、演芸大会の部では、近所に住む中国人の皆さんの飛び入り参加もあり、カラオケやモノマネなど、会場は終始笑いと拍手につつまれていました。

教育奨励賞



神川小学校が、「創造性に富んだ特色ある教育を実践し、優れた成果をあげた学校に贈られる「教育奨励賞」努力賞を受賞しました。

この賞は、各都道府県教育委員会の推薦に基づき、全国で30校が受賞したもので、神川小学校は「地域の人々とつくるふるさと教育」というテーマで、高齢者とのふれあいなど地域人材を生かした活動や郷土芸能「銭太鼓」の伝承、神川海岸や大滝、神ノ川を活用した教育活動などが受賞理由でした。

金メダル目指して



永田歩弓さん(大根占中3年)は、10月26日～28日まで、神奈川県横浜市の日産スタジアムで開催される第38回ジュニアオリンピック陸上競技大会に参加します。参加種目は、200mと400mリレーで、リレーでは第一走者を務めます。

鹿児島県内からは、約40名、肝属地区からは唯一の出場選手となります。

永田さんは「200mでは自己ベストを目指したい」という抱負を述べてくれました。

自己ベストは26秒50、中学生生活最後の大舞台、健闘を期待しています。



もっと遠くへ！



もっと高く！

新記録目指して

10月11日、田代総合運動場において陸上記録会が開催されました。

陸上記録会は、町内の6小学校の5・6年生が参加して行われ、これまで練習してきた成果を存分に発揮して、好記録や自己ベストを目標に一生懸命頑張りました。

大会結果は、以下のとおりです。



自分との戦い



60M級の大遠投

5年生 男子

種目	学校名	氏名	記録
100M走	大根占	木下 統偉	15"7
走り幅跳び	宿利原	牧原 弘明	3m54cm
走り高跳び	池田	中原 孝明	1m05cm
ソフトボール投げ	池田	白井 智仁	50m35cm
1000M走	田代	富尾 大地	3'43
400Mリレー	田代	田代 A	1'05"3

6年生 男子

種目	学校名	氏名	記録
100M走	田代	富尾 雄大	14"9
走り幅跳び	田代	山下 信二	3m84cm
走り高跳び	池田	木下 晨兵	1m20cm
ソフトボール投げ	田代	柳田 史天	59m28cm
1000M走	田代	富尾 雄大	3'28
400Mリレー	田代	田代 A	1'00"5

5年生 女子

種目	学校名	氏名	記録
100M走	大根占	鳥越いずみ	16"9
走り幅跳び	大根占	鳥越いずみ	3m06cm
走り高跳び	大根占	大山 早紀	1m00cm
ソフトボール投げ	田代	山口 千裕	31m28cm
800M走	大根占	水口 歩	3'07
400Mリレー	大根占	大根占 A	1'09"3

6年生 女子

種目	学校名	氏名	記録
100M走	田代	井手口雅菜香	15"8
走り幅跳び	田代	折小野夏美	3m40cm
走り高跳び	大根占	水口 希	1m15cm
ソフトボール投げ	田代	川畑 友依	40m22cm
800M走	田代	松山 優季	2'51
400Mリレー	田代	田代 A	1'02"8

■ は新記録

第3回

町民体育大会



▶力強い選手宣誓（神川地区、野間選手）



10月8日、第3回錦江町町民体育大会が田代総合運動場で開催されました。当日は、あいにくの空模様となり午前の部の終了間際に雨脚が強くなり午後の部は中止となりましたが、選手や応援の皆さんは雨に負けないくらいの熱戦を繰り上げました。

大会結果は、途中中止のため順位無しとなりました。

（右、下）大会の花形種目である100メートルは、さすがに各地区の健脚自慢が揃うとあって、コンマ数秒の争いが繰り上げられました。



一着はどっちだ!?



筋肉が躍動する瞬間、力強いロケットスタート！

池宿地区応援団



神川地区応援団



城元地区応援団

雨の中、すばらしいアトラクションを披露した田代中学校



転倒者続出!

ムカデ競争
と三人四脚では、地味に
転ぶ方、派手に転ぶ方、転倒者が続
出し、応援席からは大きな声援と笑い声が響
いていました。



ゴール前、接戦を制そうと頑張りすぎて
同時に転倒した川原地区と馬場地区



靴が脱げるほど派手に転倒した城元地区。
しかし、チームのために脱げた靴も気に
せずゴールを果たしました。

審判長も
思わずお
手伝い



転ばないよ
うに慎重に



園児の大玉転がしでも大転倒続出でした。

今大会は、アトラクションや応援でも大
会に花を添えた方々がたくさんいらっしゃ
いました。



チームワーク
はぴったり?



転倒しないかヒ
ヤヒヤの音感リ
レー。進行方向
は右なのに...



今年も健在、この人がいなきゃ
始まりません、麓地区応援団長



かわいらしい演技で大会を和やかに盛り上げてくれた田代幼稚園・川原保育園の園児たち

シルバー人材センター、ときわ木真向会・遺族会青年部、錦江町内の建設業者がそれぞれ町内の奉仕活動を行いました。

四団体は、いずれも日頃お世話になっている地域に恩返しをしようと清掃作業を行ったもので、地元への愛情、愛着がひしひしと伝わってきました。このような大変すばらしい活動の輪がもっと広がっていけばよりすばらしい錦江町になっていくと思います。

ボランティアに参加された方々には大変感謝いたします。



シルバー人材センター



ときわ木真向会・遺族会青年部



錦江町内の建設業者

▶大漁旗を掲げた勇壮な漁船



10月29日に開催された漁業振興祭において、ヒラメの稚魚の放流が行われました。

これは、日頃の海の恵へ感謝の意を込め、併せて自分たちの手で海を、自然を守ろうという目的で行われました。

当日は、大漁旗を掲げた数十隻の漁船の大パレードで幕を開け、ヒラメの放流の後、神事が行われました。

産業振興課だより

ヒラメの稚魚放流 (第29回漁業振興祭)

産業振興課 電話 22-3034



◀大きく育てと願いを込めて

産業建設課だより

和牛オリンピック 中国四国農政局長賞受賞

産業建設課（経済チーム） 電話 25-2511



平成19年10月11日～14日、鳥取県米子市で開催された第9回全国和牛能力共進会に本町田代内ノ牧の中島ユリ子氏所有の「たから3」号が第4区（系統雌牛群）4頭1組に鹿児島県代表として出場しました。

第4区には全国の代表牛52頭（13組）が出場し、「たから3」号は優等賞2席、中国四国農政局長賞に輝きました。

中島氏は73歳の高齢にもかかわらず、全共の大舞台に出場出来た事は牛飼い47年の日々の努力は勿論、肉用牛経営に対する熱心さが実を結んだ結果です。今回のたから3号の全共出場は錦江町の名声を高めるだけでなく、本町肉用牛農家の生産意欲の向上に大きく貢献しました。大変ご苦労さまでした。

1. 国民年金保険料は社会保険料控除の対象

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となります。

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、今年一年間に納付（納付見込みを含む）した国民年金保険料を証明する書類の添付等が必要です。

2. 毎年11月初旬に送付

生命保険会社等が発行する控除証明書と同様に、一年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「国民年金保険料」控除証明書（ハガキ）が社会保険庁から毎年11月初旬に送付されます。

証明内容は本年1月から10月1日までに納付された国民年金保険料額と、年内に納付が見込まれる場合の納付見込額です。

納付忘れ等がある場合も、年内に納付すれば、今年分の控除として申告することができます。

3. 2月初旬に送付される場合

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月2日以降に本年初めて納付する方については、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されます。平成19年度中に国民年金の保険料を納付した方の全員にこの証明書が送付されます。

年金だより

年末調整や確定申告には「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」等の証明書の添付や提示が必要です。

鹿屋社会保険事務所 電話 0994-42-5121
本庁住民税務課 電話 0994-22-3039
支所住民生活課 電話 0994-25-2511

4. 家族（大学生の子供等）の国民年金保険料を納付したとき

ご自身の社会保険料とあわせて申告してください。

配偶者やご家族の負担すべき国民年金保険料を納付したときは、納付した方がその保険料額を申告することができます。



お問い合わせは、社会保険庁から送付される「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されるお問い合わせ先まで。

撮影のフィルム



企画課からのお知らせ

第6回KKBふるさとCM大賞2007 アイデア賞受賞

企画課（未来形成チーム） 電話 22-3032



10月26日に行われたKKBふるさとCM大賞の審査会及び授賞式が行われました。

その中で本町の出品した「指令！芸術に出会え」がグランプリこそ逃したものの見事アイデア賞に輝き、賞状とトロフィを頂き副賞として40本のCM放映も頂きました。

「自然豊かな錦江町での生活そのものを芸術作品にした着眼点を評価」（山本晋也映画監督評）などが受賞要因でした。

授賞式の模様は、11月23日(金)午前10時15分からKKB（鹿児島放送）で放映されます。

よ
か
と
こ
い
巡
り

錦江町の知ってるようで知らない
スポットを紹介します。
今回は、河上神社編です。

河上神社は城元地区にあり、80.5
アールと壮大な境内を有しています。
祭神は、^{うがやふきあえずのみこと}鵜草葺不合尊・^{しんぶてんのう}神武天皇・
^{いつせのみこと}五瀬命・^{いないいのみこと}稲飯命・^{みけいりのみこと}三毛入野命で
す。

創建の由来等は、明治12年の火災
のため宝物由緒書等も焼失しており
今では詳細を知ることは出来ません。

● 柱松（はしたまつ）

河上神社には県下では類を見ない、全国的にも珍しい火祭りがあります。

昭和34年を最後に途絶えており、その後3回ほど復活しています。

柱松は、先端部にわらを巻いた10mを超す松を立て、火の点いたホテ（麦わらの小束）を投げ点火する一隊と長い竹竿で消火する一隊とが激しくぶつかり合う勇壮な祭りです。

由来については、詳細はわかっていませんが、柱松に点火し降神を願い五穀豊穡を願う神事という説と、昔、大蛇の被害に恐れていた村人たちが火で大蛇を打ち払ったと言われており、松を大蛇に見立てて大蛇への不安を払おうとする行事という説があります。



● 神舞い

河上神社には旗山神社（池田校区）と同じく鳥居建てや例祭などで神舞いが踊られていましたが、現在は、戦後諏訪神社の鳥居建ての時舞ったほか、数回しか行われていません。舞いの種類は田ノ神舞やなぎなた舞など48種あったと伝えられています。

● 納涼大会

毎年8月には神社の境内で城元青年団による納涼大会が開催されます。
来年は是非足を運んでみて下さい。



● 狛犬（こまいぬ）

本殿を守るように鎮座している狛犬。正確には「獅子・狛犬」だそうです。



錦江に生きる

ろくにん目

鵜瀬 裕豪さん(神之浜一區自治会)



▶いつも大切にしている気持ちだという標語と一緒に



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第6回目は、神之浜一區自治会の鵜瀬裕豪さんです。

午後二時頃、鵜瀬裕豪さんの自宅を訪ねたら遅い昼食をとっていた。

裕豪さんは、家族で水産業(鮮魚・加工品)を営んでおり、毎朝四時に鹿児島市内の市場に向かい、そこで仕入れた海産物を町内の販売店や給食センターに卸している。朝のうちに終えなければいけないので片付けなども含めると必然的に遅い昼食になる。もちろんこれで仕事が終わるわけではなく、加工作業や配達などもあり、慣れるまでは体もきつかったという。高校卒業以来続けているので今は余裕も出来、合間に創作料理などを作って友人たちに振舞うこともしばしば。裕豪さんいわく「友人たちの反応を見て、好評なら今構想中の惣菜販売などのレパトリリーに加える」しかし、あくまでも裕豪さん個人の頭の中での構想らしく現実味は低いらしい。

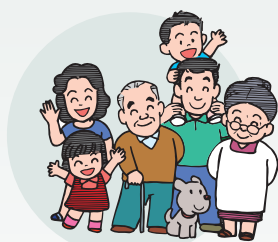
裕豪さんに、「趣味はなんですか」と尋ねたら「ボランティア活動です!そろそろ掃除の時間だから」と海岸沿いにある自宅を飛び出すと、熊手を取って海岸清掃を始めた。あまりにもタイミングが良すぎたので失礼ながらも一度尋ねたら「はい。後、野良猫や小鳥に餌もあげます。宝である子供たちを守るため運転中などは防犯パトロールもしてます」とのこと。自分の出来る範囲でいから地域に貢献していくことをモットーにしているという裕豪さん。商工会青年部では副部長をしており、夏祭りや盆踊り大会などのイベントでも中心となって活躍している。

最後に一言お願いしたところ、「世界中の人が、ここから見える夕日を眺めたら世界は平和なのにな」とつぶやいた。そして、「今度、野球の試合があるから、その写真もよろしく!じゃあその辺パトロールしてきます」と言い残して、姪っ子のピンクの自転車にピンクのヘルメットを被って去っていった。見所いっぱい青年だった。

錦江町

おもで 思い出写真館

昭和30年頃の田代地区の子供たち
荷馬車に乗せてもらい
楽しかった時代
みんな楽しそうに笑っています。



提供
永野幸三さん(平石自治会)



写真のご協力をお願いします

「錦江町思い出写真館」に掲載する写真を募集します。
撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。お借りした写真は責任を持ってお返しします。
掲載は受付順とさせていただきます。

お知らせ コーナー INFORMATION

11

2007.

【案内】

新春書き初め会開催

第2回新春書き初め会を企画いたしました。

書家・田貫独心先生の指導で「書く楽しさ・書の美しさ」を学びます。地域の文化向上や地域での社会体験活動のお役に立てたらと考えています。今回は6回の練習も予定しております。保護者の方々も是非参加して新鮮な体験をしてください。

●期 日 1月5日(土)

午前9時～12時

●場 所 錦江町中央公民館

(シューズ持参)

●費 用 1000円

(経費のみ)

●受講料

無料

●練習日

11月24日、12月8・22日

午前9時～11時

11月17日、12月1・15日

午後1時30分～3時30分

※錦江町中央公民館2階会議室で行います。

《お問合わせ・お申込み》

錦江町教育委員会

TEL 0994-220517

主催 錦江町書道研究会

共催 錦江町教育委員会

2008年

いよいよ

全国稼動開始!



平成18年度の町たばこ税は約7,800万円で、一箱あたり約66円が町の収入となりました。

たばこを購入の際は、町内の販売店で購入しましょう

未成年者喫煙防止のため成人識別ICカード「Taspo (タスポ)」が導入されます。

タスポは、申込み時にお客様が成人であることを確認した上で発行されます。

屋内外問わず、すべての自動販売機に導入予定で、タバコ購入の際はこのカードが必要になります。

また、鹿児島県・宮崎県についてはパイロットエリアとして、他県に先駆けて2007年12月から取組みが始まります。

●問合せ先

社団法人日本たばこ協会
未成年者喫煙防止対策室

電話 03-5408-1452

自衛隊生徒募集のお知らせ



自衛隊の最新装備を扱うための専門技術者を養成します。当初3年間は、陸上自衛官として教育や訓練を受けながら、一般の高校と同じ学科を学びます。3年終了時には高等学校の卒業資格を取得してその後1年間は、それぞれ専門的な技術を学び、卒業後は陸上自衛官として各部隊や機関で活躍します。

●学校の所在地

神奈川県横須賀市御幸浜2-1

- 1 採用予定数 約250名(陸自のみ)
- 2 応募資格 15歳以上17歳未満
(20年4月1日現在)の男子
- 3 受付期限 現在～平成20年1月8日まで
- 4 試験日程 1次 平成20年1月12日
2次 平成20年1月26日
- 5 合格発表 1次 平成20年1月21日
最終 平成20年2月19日

●お問合せ先

鹿児島地方協力本部
☎0994-42-4386

休日の在宅当番医

月 日	病 院 名	電話番号
11月11日	長浜医院	22-0137
18日	じょうさいクリニック	24-2977
23日	肝属郡医師会立病院	22-3111
25日	濱畑クリニック	25-2575
12月2日	藤崎クリニック	22-2238
9日	今隈医院	26-2222

※諸事情により変更となる場合がございますので、ご利用の前にお問合わせ下さい

人口の動き



平成19年11月1日現在

		前月号比
人 口	9,937人	(△16)
男	4,652人	(△13)
女	5,285人	(△3)
世帯数	4,359戸	(△5)

△は減少

町営住宅 空き家状況

(11月1日現在)

大根占地区
・芝山団地104号室
・港団地1号棟302号室
田代地区
・現在、空いておりません
お問合わせ及び入居希望の方は、建設課または地域振興課へご連絡下さい

C/W
面影の白い町

花散らしの雨
岬 晃司

キングレコード
ウイングジャパン 好評発売中!!
新曲「花散らしの雨」
作詞：里村龍一・作曲：岡千秋
「面影の白い町」

TAP (タップシステム)
〒666-0033 川西市栄町14-13
TEL・FAX: 072-759-8777

戸籍の窓

10月1日～31日

戸籍に關しましては、
ホームページへの掲載は致しておりません。



WATANABE ACTIVE OYSTER

健康への活性化!!

家族みんなの
栄養補給に
カキ肉エキスの
バイオニア!

天然ミネラル・ビタミンの補給には
海のミルク“牡蠣”がおすすめ

「海のミルク」といわれる牡蠣（新鮮な三年ものの真牡蠣を使用!!）から丁寧にエキスを抽出・濃縮したため、お子様からお年寄りまで安心してお飲みいただけます。ご家族全員の健康を守る強い味方です!! 妊婦さんにもお勧め♪

オイスターは
私たちの強い味方!!

食生活が不規則で偏食がち
健康増進を望んでいる
美容が気になる
お酒をよく飲む
妊娠授乳期
スポーツをする

こんな時の栄養補給に

心と身体の健康相談は

川口薬品

TEL 0994-22-2265

FAX 0994-22-3390

現在利用しているお店で満足していますか？
食べて、飲んで、安くて、旨い店、満足出来る店!!

忘年会



予約受け賜ります!

居酒屋 和 (わじん) 人

昼は日替定食、他メニュー多数、ラーメン

(営業時間) (昼) AM11:30~PM2:00

(夜) PM6:00~PM11:45

(定休日) 月曜日

☎ 22-2232

錦江町馬場978-1
(大根占マルエイパチンコ裏)





鹿児島のみどり写真公募展

鹿児島県は緑豊かな県の中に位置するとともに、南北600キロメートルに及ぶことから、世界自然遺産の屋久島をはじめとする多様なみどりに恵まれています。また、県民の居住する田園地帯には豊かな畑地や水田が広がるとともに、県都の鹿児島市も、かつては瀬野賀・最子が「石垣青きかこしまの街」と称んだみどり豊かなところでした。

しかし、そのみどりを詳細に見ていくと、スギ、ヒノキ等の人工林の森林整備の遅れや竹林のまん延などの課題があり、県民の居住する近隣においても耕作放棄地や都市化の進展に伴いみどりが少なく豊かな地区等が見られるようになってきました。

このような中において、この公募展は、県民に鹿児島のみどりのすばらしさを写真によって再認識していただき、将来にわたってみどりを創造し、残していくための促進するものです。

第2回 かこしま美緑展 募集要領

1 テーマ

鹿児島県内の森林、樹木、植物類およびその存する風景、情景

2 応募方法

(1) おおむね1年以内に県内に撮影された未発表の作品で、出品は一人1点(断写真不可)とします。

(2) 応募期間は平成19年11月1日から12月末日までとします。

(3) モノクロ、カラー、アナログ、デジタルいずれの写真でもかまいません。

(4) 応募する写真は、四つ切りまたはワイド四つ切りとし、応募票を切り取り裏面にセロテープで貼り付けてください。

(5) 審査結果の発表は、平成20年2月中旬頃、かこしまみどりの基金のホームページ等で、各入賞者へ通知します。

(6) 応募先、問合せ

〒892-0816 鹿児島市山下町9-15 林業会館内
(財)かこしまみどりの基金 TEL:099-225-1515 FAX:099-225-1511

3 主催

財団法人かこしまみどりの基金

後援 鹿児島県・南日本新聞社

4 審査員

日下 紀三 屋久杉自然館館長、写真家

田川 日出夫 鹿児島大学名誉教授、元京短期大学学長

吉領 明人 南日本新聞社編集部写真部長

5 表彰

鹿児島県知事賞

1点 副賞・5万円

かこしまみどりの基金理事長賞

5点 副賞・2万円

優秀賞

10点 副賞

6 その他

(1) 入賞写真の著作権は、財団法人かこしまみどりの基金に帰属するものとします。また、入賞作品については原稿を提出していただきます。

(2) 応募は誰でもできます。また、写真技術の良否よりも鹿児島のみどりがいかに表現されているかを基準に審査します。

(3) 応募写真は、来年5月開催予定の「かこしま美緑展」で展示するほか、入賞作品は当基金の作成するカレンダー、ポスターおよび「かこしまみどりの基金だより」等に使用します。

(4) 被写体の肖像権に関して、当基金は責任を負いません。

(5) 応募写真は、特に要求のあった他は返却しません。



今月の一冊



天使の靴

ドナ・ヴァンリアー 著



もしかしたらあなたは、この話を単なるぐうぜんだと考えるかもしれない。あの頃は、僕もそう考えていた。神様が誰かの人生を変えるために一足の靴を使うなんて、信じられるわけがなかった。でも今は違う……。 (本文より)

大切なものを思い出し涙が止まらなかった。人は感動によって立ち直るものなのですね。など読んだ人の感想です。

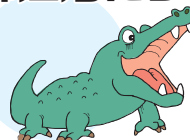
あなたも優しい感動に包まれてみませんか！

●文化センター図書館にて貸し出し中●

気になる一枚



錦江湾にワニが出没!?



答えは編集後記で



* 寄 贈 *

鳥井戸自治会出身で大
阪府在住の 西中川時憲
さんが三ヶ月かけて製作
されたボトルシップを寄贈
くださいました。

大変精巧な作品で、役
場では住民税務課窓口
に飾っております。

編集後記

●町民みんなが楽しみにしていた町民体育大会、あいにくの雨で途中中断でしたが、競技に応援に一生懸命頑張っている皆さんから元気を頂きました。しかし、路上駐車が見受けられたのは大変残念でした。免許を持てるのは良識ある大人です。もう一度みんな考えてみましょう。

●7月号でぐちをこぼしたのが良かったのか希望のテレビ出演の機会が巡ってきました。しかし、N先輩から「見た目が怖いから」とそのままの姿で出ることを認めてもらえませんでした。何人の方が私とわかるかどうか。トホホ……

●「気になる一枚」これは「ウニ」の上の部分が削り取られて「ワニ」になっています。軽いたずらのつもりかもしれませんが、落書きなども立派な犯罪です。このようなことが無い錦江湾にみんなの手でしていきたいと思います。

■発行 錦江町役場

■編集 企画課

〒893-2392

鹿児島県肝属郡錦江町城元9 6 3

☎ 0994-22-3032 FAX 0994-22-1951

■錦江町ホームページアドレス

http://www.town.kinko.lg.jp